



大船渡市長 戸田 公明

「地域力の向上」と「地方創生」の 連動と並行による持続可能な まちづくりの実現に向けて

東日本大震災から8年の歳月が経過いたしました。ここに、あらためてお亡くなりになられた方々に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、被災されました多くの皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

本市におきましては、これまで国内外からの多大なるご支援と市民の皆さまのご協力のもと、市復興計画の推進に全力で取り組んでまいりました。その結果、事業費ベースでの進捗率が約9割に達するなど、着実に復興の歩みを進めてきたところであります。

大船渡駅周辺地区におきましては、交流や学びの場、市の情報発信の場であります防災観光交流センター「おおふなほーと」が完成・開所し、会議などでの利用だけでなく、子どもの遊び場や自主学習の場としても多く利用されております。

また、商業エリアにおきましては、キャッセン商業街区を中心に、年間を通じて工夫を凝らした多種多様なイベントが催され、世代を越えた幅広い交流が図られるなど、にぎわいの拠点となっており、その周辺では、夢海（ゆめみ）公園をはじめとする3つの公園整備が進められ、市民をはじめ本市を訪れた多くの皆さまに憩いの場、安らぎの場として利用されるこ

とが期待されます。

さらに、市内各地におきましては、企業誘致のための産業用地整備や、地域住民の交流の場となる多目的広場整備といった、被災跡地を有効活用した事業も順調に進捗しておりますし、地域防災の拠点となる消防屯所につきましても、計画した全18棟全ての復旧工事が完了し、災害時に迅速な対応が可能となる環境を取り戻すことができました。

復興計画期間も残すところ2年となりますが、今後におきましては、重要課題である中心部のまちづくりや、中心部以外の被災跡地のさらなる利活用の促進に加え、心のケアやコミュニティ形成支援といった、被災者に寄り添う施策につきましても、引き続き全力を傾注してまいります。

市といたしましては、復興の完遂を目指すとともに、多様な地域課題に対応したまちづくりを推進すべく、これまで以上に市民の皆さまとの協働を強めながら、各種取り組みを積極果敢に推進してまいりたいと考えておりますので、今後におきましても、一日も早い復興に向け、なお一層のご指導、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

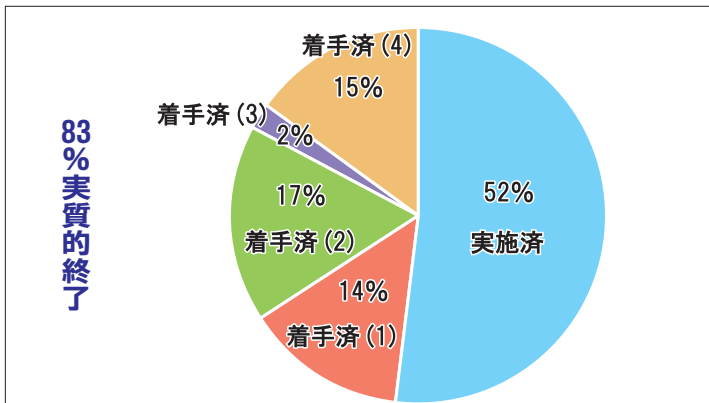
復興事業の状況

▽問い合わせ先 復興政策課（管内線339）



工事が完了した野野前防潮堤

市では平成23年10月31日、東日本大震災を乗り越え、被災者が生活を再建できるように、また、市民が幸せを感じ、誇りを持てるまちとして再生するために、大船渡市復興計画を作成しました。平成30年9月30日現在で復興計画に搭載している事業は、4つの柱①市民生活の復興②産業・経済の復興③都市基盤の復興④防災まちづくりの合計で256件となっております。進捗状況は、実施済みが133件、着手済みが123件、検討中（実施に向け検討中）および未着手（実施の見通しが立たない）はいずれも0件です。着手済みのうち、79件は実質的に終了と認められますので、計212件（約83%）が当初の目標を達成していることとなります。



着手済の分類

- (1) 震災前からの事業で、再開したもの⇒【実質的に終了】
- (2) 震災後からの事業で、軌道に乗ったもの⇒【実質的に終了】
- (3) 震災前からの事業で、再開したが未完了（未完了）のもの
- (4) 震災後からの事業で、未完了（未完了）のもの

